



厳しさを増している中で、道路や港湾など国がおこなう事業について、地元負担、いわゆる町の負担がありません。

この問題として、国が地方自治体に負担金の中身や内訳を知らせずに通知だけをする、国が負担すべき職員の給与・退職金まで含まれていること、請求額が妥当なものであるかどうか地方

自治体に審査する権限がないこと、建設費・維持管理費が地方自治体と比べて割高になっていることが指摘されています。

奥尻町においても負担金の中身の説明を受けているのかどうか明らかにする必要がある、また解消すべきであるとの認識を町長は持っているか伺います。

国と全国知事会等の動向を見極めたい

新村 卓実 町長

【答弁】

本来、国で負担すべき経費についても、地方に対し財政負担を強いていることなど不合理なものとなっているとしたら、見直しが必要であると認識しています。現在、全国知事会等で直轄事業負担金制度の改革について、国へ「提案・要望」

をしているので、今後の動向を見極めていきたいと考えています。

三大祭りのあり方は

制野 征男 議員

【質問】

毎年おこなわれている三大祭りは、三大祭り連合会で議論され、イベントの内容、行事への配分額などが決められている仕組みが長年取られており、最近の連合会における議論の主な点は、特定の業者、商店からの寄付金の集め方にあります。

一昨年及び昨年行われた役員職員や町議による寄付の協力を依頼する行為について、また三大祭り連合会の会長を歴代町長が就任し



てきましたが、新村町長としての見解を伺いたい。祭りは町民のエネルギーでおこなうのが基本だと思いますが、一世帯1日5円貯金で祭りの資金を町民が拠出するなど、特定の業者や商店からの寄付を解消する方向で検討すべきではないのかお聞きします。

町民全体の祭りの存続を望んでいる

新村 卓実 町長

【答弁】

三大祭りの自主財源確保のあり方については従来の形が望ましいのか、別の形が良いのかを、祭りの継続を前提に議論していくべきと考えていますが、不況という背景もありながら、こんな時代だからこそ楽しめる町民主体の祭りの存続を望んでいます。

また連合会長についてはむしろ町民から盛り上げる意識があるのであれば、会長は必ずしも町長でなくても良いと考えていますが、とにかく連合会総会をできるだけ早い時期に開催して祭りの方向性や財源確保について検討していきたい。

廃食油のリサイクル運動を町が提唱を

制野 征男 議員

質問

廃食油のリサイクル運動が全国的な運動になっており、バイオ燃料、石けんづくり、森林との交換(廃食油を50リットル程度送ることと福島県の森林一坪と交換)とその処理で知恵がだされています。奥尻町でも、旅館・民宿を含む一般家庭からも出される、てんぷら油の活用を、二〇〇三年に政府が制定した「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の経緯からも、町としても積極的に提唱する責任があるのではないですか。



町内外の法人や個人業者が回収利用するならPRにも協力

新村 卓実 町長

答弁

てんぷら油のリサイクルについてはテレビなどの報道を通じて知っており、バイオ燃料への活用などリサイクル事業として展開していくものと思います。奥尻町としては、石けんづくり、土地交換など、提唱できる仕組みとしては島外に搬出できるならバイオ燃料としての利用度が高いと理解しています。有価物として、価値が低くても町内外の法人や個人業者が回収利用するのであれば町としてPRや協力をしていきたい。

職員の研修意欲を活かす施策の充実に

齋藤 伸彦 議員



質問

財政難の中、人件費の削減、職員の不補充の中でも町民のために勉強したいとの意欲を持っている職員がいます。以前は道庁への派遣や民間企業への出向が主流でしたが、いまはその余裕もないのが実態です。その中で、全国的に同じ悩みを持つ職員が集まり種々のテーマで研修する施設への参加を希望した場合の費用の補助などが必要になってくるのではないのでしょうか。

補助金の支給はできないが研修参加について精査を検討

新村 卓実 町長

答弁

「奥尻町人材育成基本計画」においても、自治体職員の自己啓発、人事交流などの必要性を定めています。今年度は「法務研修」「初級研修」「指導者養成コーティング研修」に1名、また、



「ちょっと暮らし・移住」の推進を

齋藤 伸彦 議員

質問

NPO法人「住んでみたい北海道推進会議」がおこなっている季節限定の「ちょっと暮らし・移住」が目ざれております。この事業の特徴は、登録した各自治体が都会の移住希望者に空き家を紹介するので、宿

日本離島センターが費用を負担する全国レベルの職員研修に1名、渡島・檜山の職員研修に「講師」として1名派遣しています。職員への補助金の助成はできませんが、研修参加についてはフォローアップ研修も含めて精査検討していきたい。